

有害プランクトン情報

(令和4年度 - No. 8)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- | | | | | | | |
|-------|----|---------|----------|-------|----------|-------|
| ○ 調査日 | 沖合 | 11月 第1回 | 内湾 (8地点) | 11/7 | 内房 (7地点) | 11/7 |
| | | 11月 第2回 | 内湾 (8地点) | 11/22 | 内房 (7地点) | 11/24 |

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- カレニア ミキモトイがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 10/11,12 船橋沖～千葉沖, 盤洲南部 最高密度は船橋沖の0.2 細胞/mL
- カレニア ミキモトイ以外のシャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属は1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL, カレニア属は100 細胞/mL以上で注意報を発出します。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- ディノフィシス アクミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 11/7 アクア北部～羽田沖および船橋沖～千葉沖 最高密度は千葉沖の0.4 細胞/mL
 - ・ 11/22 アクア北部～南部および船橋沖 最高密度は船橋沖の0.1 細胞/mL
- ディノフィシス ロツンダータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 11/7 アクア北部および羽田沖 密度はいずれも0.05 細胞/mL
- ディノフィシス コウダータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 11/7 アクア北部および千葉沖 密度はそれぞれ0.2 細胞/mL, 0.1 細胞/mL
 - ・ 11/22 富津沖, アクア北部および盤洲北部～南部 最高密度は盤洲南部の0.1 細胞/mL
- ディノフィシス インファンディブラがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 11/7 アクア南部および富津沖 密度はそれぞれ0.05 細胞/mL, 0.1 細胞/mL

- 貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- 有害プランクトン（シャットネラ属，シュードシャットネラ属，ヘテロシグマ属，カレニア属）は，いずれも確認されませんでした。
- 赤潮は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- ディノフィシス インファンディブラがみられました。低密度ですが，注視が必要です。

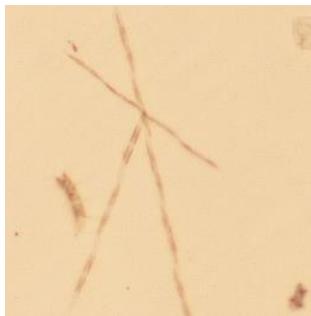
- ・ 11/7 第2海ほ沖 密度は0.05 細胞/mL

- 貝毒の被害情報はありませんでした。

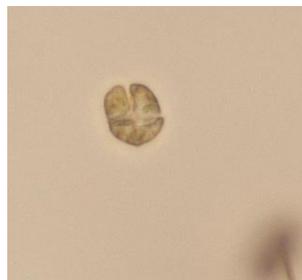
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

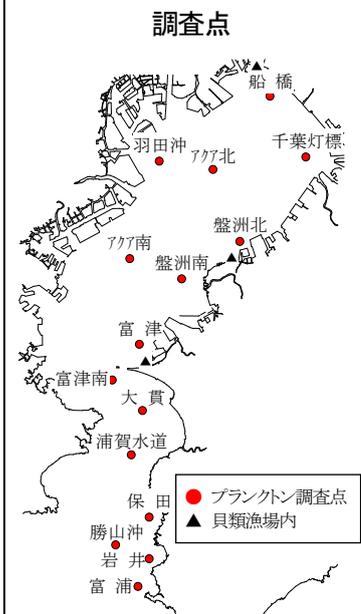
11/7	内湾・内房	珪藻タラシオシラ属，シュードニッチア属，アクティノプティス属など
11/22,24	内湾・内房	珪藻シュードニッチア属，キートセロス属，アクティノプティス属など



シュードニッチア属
(11/7 富津沖)



カレニア属
(11/7 船橋沖)



連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp